

# ぎのうじっしゅうせいかつ かなら やくだ に ほ ん ご 技能実習生活に必ず役立つにほんご

だい 6 かい  
第 6 回

いいです

こうえきしゃだんほうじん こくさいにほんごふきゅうかい たけだ ゆみ  
公益社団法人 国際日本語普及協会 武田 由美

イラスト：リオ輔

1



あさ とも かいしゃ ひと きんじょ ひと あ  
朝、友だちや会社の人や近所の人に会ったとき、  
「いい天気ですね」とあいさつします。それから、  
あたらしい ふう きてい いる とも だち に 「その ふう、いいですね」  
新しい服を着ている友だちに「その服、いいですね」と  
言います。「すてきです」「よく似合います」と  
おなじ です。

「いいです」は他にも色々な意味で使えます。

① コンビニでお弁当を買ったとき、お店の人から「お箸、要りますか」とよく聞かれます。箸をもらわなくてもいいとき、「いいえ、いいです」と言うと、「箸は要りません」という意味になります。

箸が要らないとき、少し首や手を振りながら

2



「いいです」と言うと、もっとわかりやすいです。

② 職場の上司が来週のシフトを決めています。「月曜日は早番でも遅番でもいいですよ。どちらがいいですか」と聞かれました。あなたは、早番で働きたいです。そのとき、「早番がいいです」と言うことができます。「遅番より早番で働きたいです」という意味の使い方です。

「早番がいいんですが…」と聞いたほうが、もっと丁寧です。

他にも、電車の席で「窓側がいいですか、通路側がいいですか」と聞かれたときに「窓側がいいです」と言えば、「私は通路側より窓側の

3



ほうに座りたいです」という意味になります。

③ 最後に、職場で新しい機械の使い方を習っています。

説明をしている人が「この機械は、左のボタンを押してください。いいですか、左ですよ。右のボタンは、押さないでください。いいですか」と言いました。

「いいですか」というのは、「わかりましたか」という確認の意味です。わからないときは「すみません、わかりません」と言ってください。わかったときは、「はい」と言ってくださいね。